

# 久工大だより

## 主要記事

- 1面 表紙
- 2面 学長挨拶・保護者懇談会 他
- 3面 就職関係

- 4面・5面 学生ニュース
- 6面 愁華祭・少年野球・入試日程 他

## 第58号

発行・編集  
 久工大だより編集委員会  
 久留米市上津町2228-66  
 TEL(0942)22-2345(代表)  
 FAX(0942)21-8770  
<http://www.kurume-it.ac.jp>



## 高等教育機関のサテライト・キャンパスが開所



久留米市六ツ門町の複合商業ビル「くるめりあ六ツ門」6階に8月6日、市内5つの高等教育機関のサテライト・キャンパスが開所しました。久留米工業大学・久留米大学・聖マリア学院大学・久留米信愛女学院短期大学・久留米工業高等専門学校・久留米市で構成する「高等教育コンソーシアム久留米」が単位互換講座や公開講座などの事業の組織化・高度化を図り、中心市街地に事業推進の拠点「サテライト・キャンパス」を開設。産・学・民交流を強化するとともに、学生・市民の受講の利便性を高め地域活性化にも貢献する

ものです。1,554平方メートルのフロアに最大100人利用できる研修室や30人定員のパソコン研修室、学術・文化作品を展示する展示室や最大32人収容の会議室も備えています。

高等教育コンソーシアム久留米HPアドレス <http://www.consortium-kurume.jp/>



明けましておめでとうござい  
ます。ご健勝にて新年を迎えられ  
たこととお慶び申し上げます。本  
年が皆様と本学にとつて良い年  
になりますよう心から願ってお  
ります。

さて、昨年は「地域連携推進室」  
が、インターンシップ受入れ地元  
企業を新規開拓して、その内の数  
社に学生を派遣し、企業にも学生  
にも好評を得ました。今後さら  
に開拓を進めるとともに、就職に  
も結びつきたいものだと考えて  
います。「ものづくりセンター」の  
利用も、徐々にではありますが拡  
充しています。ものづくりに関す  
る学生の実験・実習の実施、高大  
連携授業や一日大学生での利用、  
オープンキャンパスでの展示・  
実演などに活用しています。ま  
た、福岡県商工部自動車産業振興  
室の協賛を得て、第1回「自動車  
空力デザインコンテスト」を、実  
施し、近隣の4工業高校から7チ  
ームの参加がありました。そのほ  
か、八女工業高等学校、三池工業  
高等学校と新たに高大連携協定



学長  
尾崎 龍夫

を結びました。さらには、久留米  
市内5大学が連携する「高等教  
育コンソーシアム久留米」が、複  
合商業ビル「くるめりあ六ツ門」  
6階に開所したサテライト・キ  
ャンパスにおいて、本学も地域  
のための人材育成に取り組んで  
参ります。

本年度の就職状況は、昨年にも  
増して大変厳しい状況ですが、各  
学科の教員、学生サービスクラス  
体となつて、全員内定を目指して  
努力を重ねているところです。

本学では今、新年度に向け、入  
学前教育・就業力育成教育を一  
層充実させるための準備を鋭意  
進めています。これからも常に  
教育力向上に努めて参る所存で  
す。年頭にあたり、皆様のご理解  
とご支援を賜りますようお願い  
申し上げます。

建学の精神

「人間味豊かな産業人の育成」

教育の基本理念

知を磨き、情を育み、意を鍛える

平成22年度 久留米工業大学公開講座 終了報告

平成22年度公開講座の全日程が11月6日をもって終了しまし  
た。本年度は、パソコン関係の入門講座を夏季、秋季あわせて6講  
座と夏休みを利用した「こども科学教室」4講座を開催しました。  
また、筑後田園都市推進評議会が主催する「ちくご子どもキャン  
パス体験学習プログラム」の委託をうけて「こども科学教室」4講座を秋  
季公開講座と同時開催しました。  
次年度も、より充実した公開講  
座を開催していきたいと思いま  
すので、どうぞご期待ください。  
ご参加いただいた皆さまありが  
うございました。



平成22年度 公開講座

開催日時	講座名	参加者数
5/28(金)	パソコン入門講座(夏季)	28名
6/4(金)	インターネット入門講座(夏季)	22名
6/11(金)	表計算入門講座(夏季)	26名
7/24(土)	こども科学教室「発見!ピオトップ」	5組10名
7/24(土)	こども科学教室「ロボットと遊ぼう」	15組30名
7/31(土)	こども科学教室「紙パイプで立体を作ろう」	5組10名
7/31(土)	こども科学教室「小学生からのプログラミング教室」	15組30名
10/23(土)	パソコン入門講座(秋季)	25名
10/30(土)	インターネット入門講座(秋季)	21名
11/6(土)	表計算入門講座(秋季)	24名
合計		226名

平成22年度 ちくご子どもキャンパス

開催日時	講座名	参加者
10/23(土)	こども科学教室「ロボットと遊ぼう」	15組30名
10/23(土)	こども科学教室「風船をふくらませよう」	3組6名
10/30(土)	こども科学教室「ペットボトルロケットを作ろう」	18組36名
11/6(土)	こども科学教室「飛行機だこを作ろう」	14組28名
合計		50組100名

平成22年度 久留米工業大学保護者懇談会 終了報告

久留米工業大学保護者懇談会を3日間12会場にて開催し、419名の方々に  
ご参加いただき全日程を終了しました。  
全体会では、保護者の皆さまと大学との相互理解を一層深めることを目的に、  
大学を取り巻く現況を報告しました。また、学科ごとの個人面談では、各教員が  
学生生活全般、学業成績、就職状況等  
について報告し、保護者の皆さまとの  
熱心なやり取り風景が見られました。  
これからも、懇談会を充実させ、保  
護者の皆さまとの連携を深めて、学  
生生活が充実するようサポートして  
いきます。多くの方々のご参加ありが  
うございました。



開催日時	地区名	会場	参加者数
9月4日(土)	久留米	久留米工業大学	158名
	宮崎	ひまわり荘	20名
	沖縄	ホテルサン沖縄	9名
	山口	国際ホテル宇部	2名
	広島	ホテルセンチュリー21広島	4名
	松山	松山シティホテル	22名
	9月11日(土)	佐賀	ホテルニューオータニ佐賀
長崎		ホテルJALシティ長崎	21名
熊本		アークホテル熊本	19名
大分		大分第一ホテル	15名
9月12日(日)	鹿児島	パレスイン鹿児島	25名
	福岡	エルガーラホール	73名
合計			419名



# 学生ニュース

## ◆ヤングアドバイザーをとおして



教育創造工学科 3年  
比嘉 佑樹  
(出身校 沖縄尚学)

私がヤングアドバイザーを始めたきっかけは、現在、教師を目指しているので、少しでも中学生と多く接して勉強したかったからです。ヤングアドバイザーの仕事は各中学校や教育事務所(学校に行けない生徒が通う教室)によって異なりますが、私が勤務している三瀬町の中学校では、学校にこない生徒の自宅ですし、月に勉強したり、教室に入りたがらない生徒と別の教室で勉強したりします。当初は、「この生徒を絶対学校に連れて行く」と意気込んでいましたが、なかなかうまくいきません。しかし、そのうちこの仕事は結果がすべてじゃない、私と話したり勉強したりしていくことで少しでもその生徒にプラスになれば良いということに気がつきました。極端なことをいえば、今、学校に来なくても最終的にその生徒が自立することが大事なのだ。「今」のことだけを考えるのではなく、生徒が将来自分で考え、生きていくようにサポートするということが重要だということが分かりました。この体験を通して、「ヤングアドバイザー」は、生徒ばかり

## ◆準硬式野球部リーグ初優勝!

ではなく、私自身も成長させられる良いきっかけになったと思います。(また実際に職員室に入り、現役の先生方と一緒に仕事をするので、中学校の教師を目指している私にとっては、今後とも生徒と更なる成長目指して、日々勉強していきます。)

準硬式野球というサークルが発足して3年目、これまでリーグ戦では最高でも2位、あと一勝に泣いていました。しかし、今年の秋季リーグ戦でついに悲願の2部リーグ初優勝を果たし、来季から1部リーグに昇格が決まりました。発足時には、部員5名という悲惨な状況でしたが、3年生の比嘉君(教育創造工学科)を中心に根気よく部員を勧誘しつづけ、最終的に16名の部員で今大会に臨みました。

今大会で4年生が引退なので後輩の胸の内には、「必ず優勝して引退させたい!」という強い思いがありました。その思いが実を結び、4年生に感謝の気持ちを含め「優勝」で恩返しをすることができました。3年生以下の部員は、「2部リーグ優勝という、サークルとしては、まだまだな結果ですが、これからさらに活躍できるように頑張っていきます。」と胸を張っています。



## ◆「2010キッズ・サイエンス・アクトin久留米」に学生ボランティア参加!

### ―知財先進都市支援事業

九州経済産業局および久留米市などが「知財先進都市支援事業」の一環として8月22日に開催されました『2010キッズ・サイエンス・アクトin久留米』に本学より18名の学生ボランティアが参加しました。

当日は、市内の小中学生約160名を相手に紙飛行機やロボット型貯金箱制作の補助にあたり、特に「パタパタ紙飛行機」の制作においては、細かな作業も必要とあり、本学の学生達も真剣な表情で小中学生に教えていたのが非常に印象的でした。



## 平成22年度 学業優秀奨学生

	学年	学生番号	氏名	出身校		学年	学生番号	氏名	出身校
機械システム工学科	2	091102	有馬 忠寛	出水高等学校	建築・設備工学科	3	083118	村本 彩美	大川樟風高等学校
	4	071109	岩橋 廣幸	八女工業高等高等学校		4	073204	内山 徹	筑紫高等学校
交通機械工学科	2	092121	田上 茂樹	高千穂高等学校	情報ネットワーク工学科	2	094208	北島虎太郎	佐賀工業高等学校
	2	092135	御厨陽一朗	長崎工業高等学校		3	084109	小宮弥生子	長崎工業高等学校
	3	082147	村上 善大	武雄高等学校	4	074106	楠田 龍樹	小城高等学校	
	3	082132	長友 優弥	佐土原高等学校	環境共生工学科	2	095111	西川 昭平	菊池高等学校
	3	082202	池田 雄紀	佐賀北高等学校		教育創造工学科	2	096104	尾形 謙太
	4	072243	古田 航	千葉(市立)高等学校	3		086110	西村 和樹	枕崎高等学校
	4	072225	竹崎 伸哉	長崎日本大学高等学校	合計		18名		
	4	072142	福島 範昭	山門高等学校					

### ●久留米工業大学育英奨学金

平成22年度の学業優秀奨学生が決定しました。本年度は、18名の奨学生に対し180万円の奨学金が副学長より交付されました。

### ●課外活動奨励金

水泳部 徳澄 周  
水泳部 釘町 龍輔  
準硬式野球愛好会



# 『ロボメカコンペ』において チーム「太公望」優勝！

機械システム工学科 3年  
佐藤 賢弥  
(出身校 高千穂高等学校)  
河崎 拓也  
(出身校 防府高等学校)  
大学院エネルギーシステム工学専攻  
木村 優介  
(出身校 浮羽工業高等学校)

(社)日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門主催「フューチャードリーム！ロボメカ・デザインコンペ2010」において、本学チーム「太公望」が見事優勝しました。参加チームの上位5位までで争われる2次審査へは3年連続で進出しており、(例年18〜20チームが参加)その努力が報われ今年も、強豪の九州大学、九州工業大学を制してついに優勝の栄冠を手に入れました。

## 代表の佐藤君コメント

私は、幼いころからロボットが好きでしたが、大学に入学するまで自分でロボットを作ることは夢のようなことでした。しかし今回、クラスや大学の先輩とともに日本機械学会主催のロボメカデザインコンペに参加し、ロボットを一つ作りました。今、私達が提案したのは、延縄漁業での作業をサポートするロボットです。これまでに使用しているロボットは防水性や材料などを考慮する必要があり、陸上を対象とする提案がほとんどでした。そこで、あえて海中でのロボットに挑戦し、ついに優勝することができました。今回のロボット製作では仲間の大切さ、協力する力の重要性を強く感じました。これから近い将来、ますますロボットが普及し、もっと身近な存在になることは間違いありません。ロボットと人間が協力し、私達の暮らしを便利にできるような研究に関わることができればと思います。



ンペに参加し、ロボットを一つから作製するという貴重な体験ができました。今回、私達が提案したのは、延縄漁業での作業をサポートするロボットです。これまでに使用しているロボットは防水性や材料などを考慮する必要があり、陸上を対象とする提案がほとんどでした。そこで、あえて海中でのロボットに挑戦し、ついに優勝することができました。今回のロボット製作では仲間の大切さ、協力する力の重要性を強く感じました。コンペに出展するなど初めての経験で困惑することも多く、白石先生をはじめ多くの先生方のおかげでここまで来ることが出来ました。また、今回のロボット製作では仲間の大切さ、協力する力の重要性を強く感じました。これから近い将来、ますますロボットが普及し、もっと身近な存在になることは間違いありません。ロボットと人間が協力し、私達の暮らしを便利にできるような研究に関わることができればと思います。



# OC 空力デザインコンテスト

平成22年8月8日(日)にオープンキャンパスの企画として「高校生自動車空力デザインコンテスト(後援:福岡県)」を開催しました。本コンテストは単に夢の車をデザインするといったものではなく、定められた設計要件の中で自動車デザイン開発を深く考えるという工学的なイベントであり、自動車開発教育を得意とする本学の特徴を活かしたイベントです。

当日は10時〜15時というタイトなスケジュールの中で新型車の「企画」、「車両レイアウト」、「デザインスケッチ」と試作モデルによる「風洞実験」、さらに「最終プレゼンテーション」まで行わなければならず、参加してくれた学生さん達には大変な一日だったと思います。しかし、厳しく定められた設計要件の中で少しでも良いものを作ろうと身を乗り出して真剣に議論をぶつけあう彼らの姿は、未来の自動車エンジニアの姿を見ているようでとても頼もしく思え、本イベントを実施して良かったと心から感じました。



厳正な審査の結果、今年度は市場分析の妥当性と明快なプレゼンテーションが高評価を得た祐誠高等学校のチーム「ユニティ」が優勝し、準優勝は企画のユニークさと車両レイアウトの仕上がりで好評だった博多工業高等学校のチーム「HTHS」でした。

参加して下さった皆さん、そして協力して頂いた皆さん、本当に有難うございました。



# 機械システム工学科 准教授 白石元 研究概要

メカトロニクス機器(機械と電子技術を組み合わせた機器)に人工知能的な技術を付加する研究を行っています。今までに熟練技術者が行っていた、排水処理プラントの自動化や調整が難しい油圧システムの自動化などを手掛けてきました。

最近では、学生諸君とともに、これらの技術をロボットにも取り入れ、飛び降りた時などに強風に膝のショックを和らげるようなロボットシステムや、環境に関連した、竹を自動で伐採するロボットなどの研究も行っています。今後は、柔らかい頭を持つ学生諸君と、より実用的で環境に役立つロボットの研究を目指していく予定です。

## 平成23年度 科学研究費補助申請

- 1 基盤研究 C … 9件
- 2 若手研究(B) … 1件
- 3 萌芽研究 …… 1件

本学では独立行政法人日本学術振興会に教員の学術研究のため平成23年度科学研究費補助金の申請を致しました。



**第35回愁華祭(学園祭)を開催**

10月16日(土)、17日(日)の2日間、本学向野キャンパスにて第35回愁華祭(学園祭)を開催いたしました。

今年、「愁華日和」をテーマに掲げ、「ドラゴンボールZ」のオープニングテーマ曲「CHA・L・L A HEA D・C H A・L・L A」や「聖闘士星矢」の主題歌「聖闘士神話〜ソルジャードリーム」など多数のアニメ・特撮ソングを歌う「アニソン界のプリンス」『影山ヒロノブ』によるスペシャルライブのほか、南筑高等学校太鼓部による演奏、ジャグリングショー、大抽選会、一般参加型企画など多彩なイベントのほか、昨年に引き続き、久留米市保健所と栄養ケア・ちっこの主催で『食育・健康☆体験コーナーIN愁華祭!!』として、食育・健康に関する専門家が来校し、食事・健康診断、調理体験など各種相談が行われました。今年も、チームで

おり絶好の「愁華日和」に恵まれ、昨年以上の方々に来場していただき、活気に満ち溢れた素晴らしい学園祭を創り上げる事ができました。



**第19回久留米工業大学旗争奪少年野球大会**

「第35回愁華祭(学園祭)」と同時開催された「第19回久留米工業大学旗争奪少年野球大会」が、ジャパンリーグ(日本硬式野球連盟)加盟の20チームの参加により、10月17日(日)、23日(土)、24日(日)、31日(日)の4日間に亘り、熱戦を繰り広げました。

今年も、途中悪天候に見舞われ、決勝戦が31日(日)になる長丁場となりましたが、各チームとも熱い声援のもと、元氣一杯のプレーで観客を沸かしていました。なお、主な結果は左記のとおりです。

- ◆優勝:大川カーギナルス(初優勝)
- ◆準優勝:筑後リバーズ
- ◆第三位:久留米ボーイズ



**平成23年度 入試日程**

**工学部**

区分	出願期間	試験日	合格発表
後期推薦入試	11月7(金)~1月18日(火)	1月20日(木)	1月22日(土)
前期一般入試	1月7(金)~1月26日(水)	2月2日(水) 学外試験 2月3日(木) 本学のみ	2月12日(土)
中期一般入試	2月14日(月)~3月7日(月)	3月10日(木)	3月12日(土)
後期一般入試	3月14日(月)~3月23日(水)	3月25日(金)	3月26日(土)
センター利用前期入試※	1月7(金)~2月4日(金)		2月12日(土)
センター利用中期入試※	2月14日(月)~3月7日(月)		3月12日(土)
センター利用後期入試※	3月14日(月)~3月23日(水)		3月26日(土)
AO入試	9月1日(水)~3月25日(金)まで随時		後日通知
編入学入試	6月1日(火)~3月24日(木)まで随時		後日通知

※本学独自の試験は実施しません。

**大学院**

区分	出願期間	試験日	合格発表
推薦・AO入試	5月6日(木)~3月24日(木)まで随時		後日通知
一般入試	2月1日(火)~2月18日(金)	2月24日(木)	3月2日(水)

**学生サービス課紹介**

平成22年8月1日より事務組織編成に伴い、旧学生課、教務課及び就職課の3課が統合して、新たに「学生サービス課」と変わりました。今回の組織編成の目的は、学生へのサービスをより一層充実させることです。学生サービス課では、学生の皆さんへの対応がより敏速かつスムーズになる事を課員一同心掛けています。どうぞ、お気軽にお越しください。



**提携教育ローンのご案内**

本学では、大学の学費に関する経済的不安を少しでも和らげ、安心して勉学が続けられるように信販会社と教育ローン提携しております。詳しくは、学生サービス課へお問い合わせください。